CBWネットワークのRLANを使用したポート設定

目的

この記事の目的は、リモートローカルエリアネットワーク(RLAN)ネットワークを作成し、Cisco Business Wireless(CBW)プライマリアクセスポイント(AP)でポートとアクセスポイントグループを割り当てることです。

該当するデバイス |ソフトウェアバージョン

- 145AC（データシート） | 10.4.1.0 （最新版をダウンロード）
- 240AC（データシート） | 10.4.1.0 （最新版をダウンロード）

概要

CBW APは802.11 a/b/g/n/ac(Wave 2)ベースで、内部アンテナを備えています。これらのAPは、パフォーマンス、アクセス性、高密度ネットワークを実現する最新の802.11ac Wave 2標準をサポートします。

この記事で参照されている145ACおよび240AC APは、従来のネットワークまたはメッシュネットワークで使用できます。この記事では、従来の無線ネットワークに機器を使用します。

メッシュネットワーキングの基礎を学びたい場合は、Cisco Businessをご覧ください。ワイヤレスメッシュネットワークへようこそ。

メッシュネットワークでポート設定を行う場合は、「メッシュモードでCisco Business Wireless Access Pointのイーサネットポートを設定する」を参照してください。

従来のワイヤレスネットワークでは、RLANはプライマリAPを使用して有線クライアントを認証するために使用されます。有線クライアントがプライマリAPに正常に参加すると、LANポートは中央またはローカルスイッチングモード間でトラフィックをスイッチングします。有線クライアントからのトラフィックは、ワイヤレスクライアントトラフィックとして扱われます。

RLANは、有線クライアントを認証するための認証要求を送信します。RLANでの有線クライアントの認証は、中央の認証済みワイヤレスクライアントに似ています。

必要な仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)が1つだけの場合は、RLANを設定する必要はありません。1つのRLANがデフォルトでAPに到達し、ネイティブVLAN 1がオープンなセキュリティを備え、すべてのポートがデフォルトでこのRLANに割り当てられます。

使用されている用語に慣れていない場合は、シスコビジネスをご覧ください。新用語一覧。

RLANはメッシュネットワークでは機能しません。メッシュはデフォルトでは有効になっていないため、APをメッシュモードで実行していた場合を除き、実行するように設定されます。

設定手順

この切り替えセクションでは、初心者のヒントを紹介します。

ログイン

プライマリAPのWebユーザインターフェイス(UI)にログインします。そのためには、Webブラウザを開き、https://ciscobusiness.ciscoと入力します。続行する前に警告が表示されることがあります。クレデンシャルを入力します。プライマリAPにアクセスするには、Webブラウザに https://[ipaddress] (プライマリAPの) と入力します。

ツールのヒント

ユーザインターフェイスのフィールドに関する質問がある場合は、次のようなヒントを確認してください。

メインメニューの展開アイコンを見つけるのに問題がありますか？

画面左側のメニューに移動します。メニューボタンが表示されない場合は、このアイコンをクリックしてサイドバーメニューを開きます。

シスコビジネスアプリケーション

これらのデバイスには、Webユーザインターフェイスと一部の管理機能を共有するコンパニオンアプリケーションがあります。Webユーザーインターフェイスのすべての機能がアプリで使用できるわけではありません。

iOSアプリのダウンロード Androidアプリのダウンロード

よく寄せられる質問 (FAQ)

まだ未回答の質問がある場合は、よく寄せられる質問(FAQ)のドキュメントを確認してください。FAQ

手順 1

アクセスポイントがオンになっていない場合は、電源をオンにします。インジケータライトのステータスを確認します。LEDライトが緑色に点滅している場合は、次の手順に進みます。

アクセスポイントの起動には、約8 ~ 10分かかります。LEDは複数のパターンで緑色に点滅し、緑、赤、オレンジが急速に交互に繰り返された後、再び緑色に変わります。LEDの色の強度と色相には小さな変化があります。

手順 2

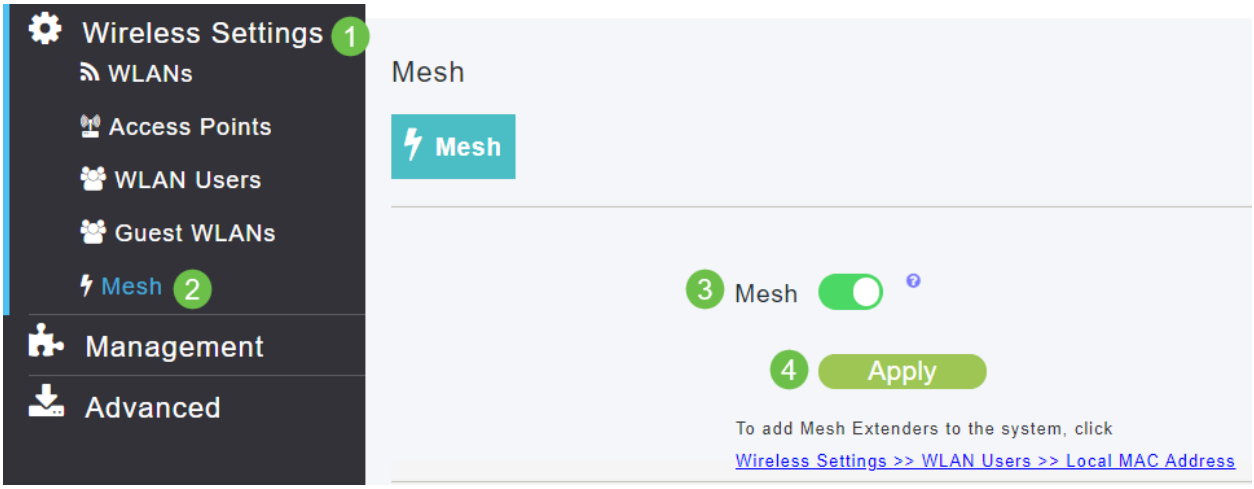
プライマリAPのWebユーザインターフェイス(UI)にログインします。Webブラウザを開き、「https://ciscobusiness.cisco」と入力します。続行する前に警告が表示されることがあります。認証情報を入力してください。

また、プライマリAPのIPアドレスをWebブラウザに入力してアクセスすることもできます。

手順 3

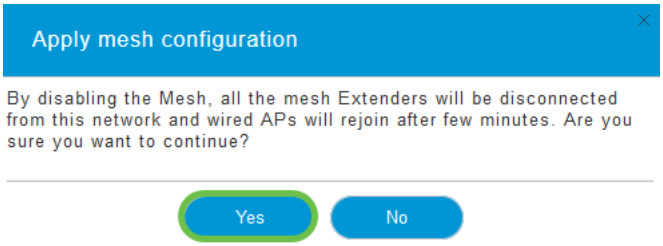
RLANが機能するようにAPをメッシュモードにすることはできません。メッシュモードをオフにするには、[ワイヤレス設定] > **[メッシュ]に移動します**。メッシュをオフにするには、を選択します。APが新規の場合、またはメッシュモードがオンになっていないことがわかっている場合は、

ステップ7に移動できます。



手順 4

[はい]をクリックして、メッシュモードをオフにするかどうかを確認します。

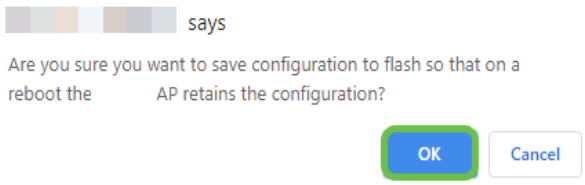


手順 5

Web UI画面の右上のパネルにあるSaveアイコンをクリックして、設定を保存してください。

手順 6

[OK]をクリックして、[保存]を確認します。APがリブートします。この処理には8 ~ 10分かかります。

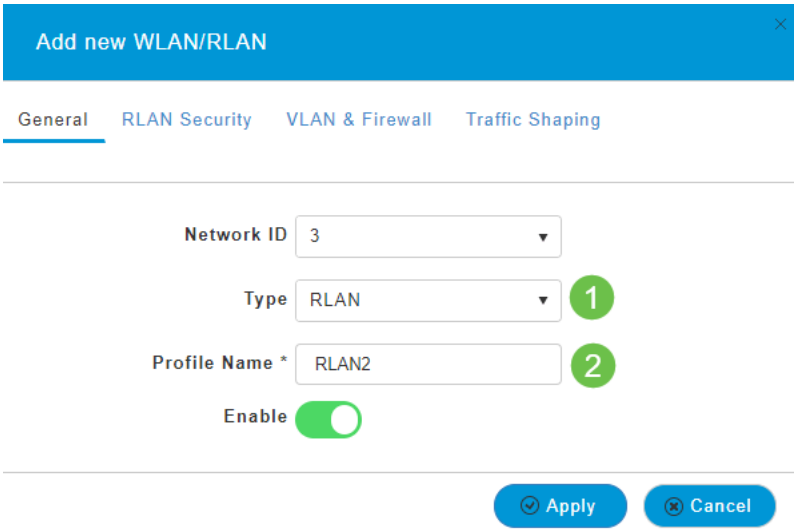


ステップ7

RLANを作成するには、[Wireless Settings] > [WLANs]に移動します。次に、[Add new WLAN/RLAN]を選択します。

手順 8

[RLAN]を**選択します**。プロファイルの名前を作成します。

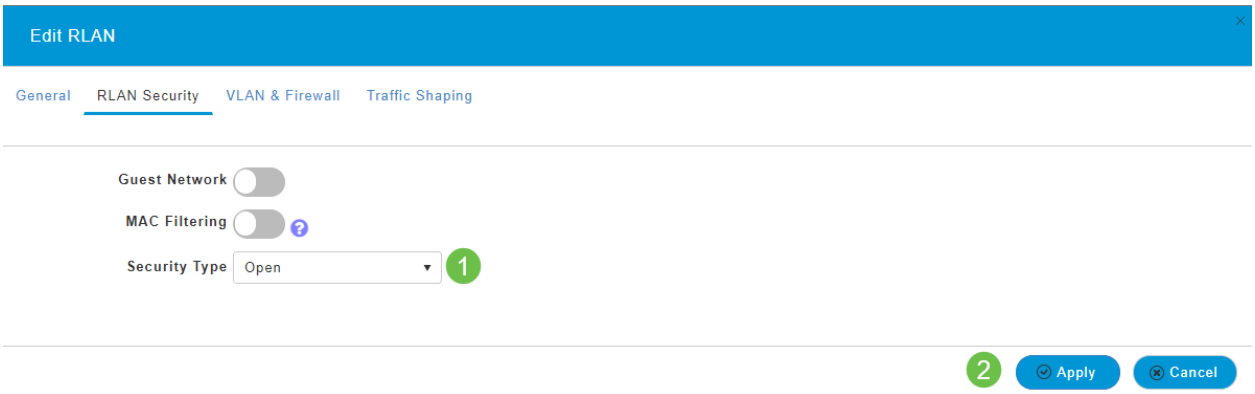


ステップ9 (オープンセキュリティの使用)

[*RLAN Security*]タブの下です。[セキュリティの*種類*]で、[開く]または[*802.1X*]を*選択*できます。

この例では、[*Security Type*]が*デフォルト*のままになっています。

[Apply] をクリックします。これにより、このオープンセキュリティRLANが自動的にアクティブ化されます。ステップ 11 に進みます。



手順10a (802.1Xセキュリティの使用)

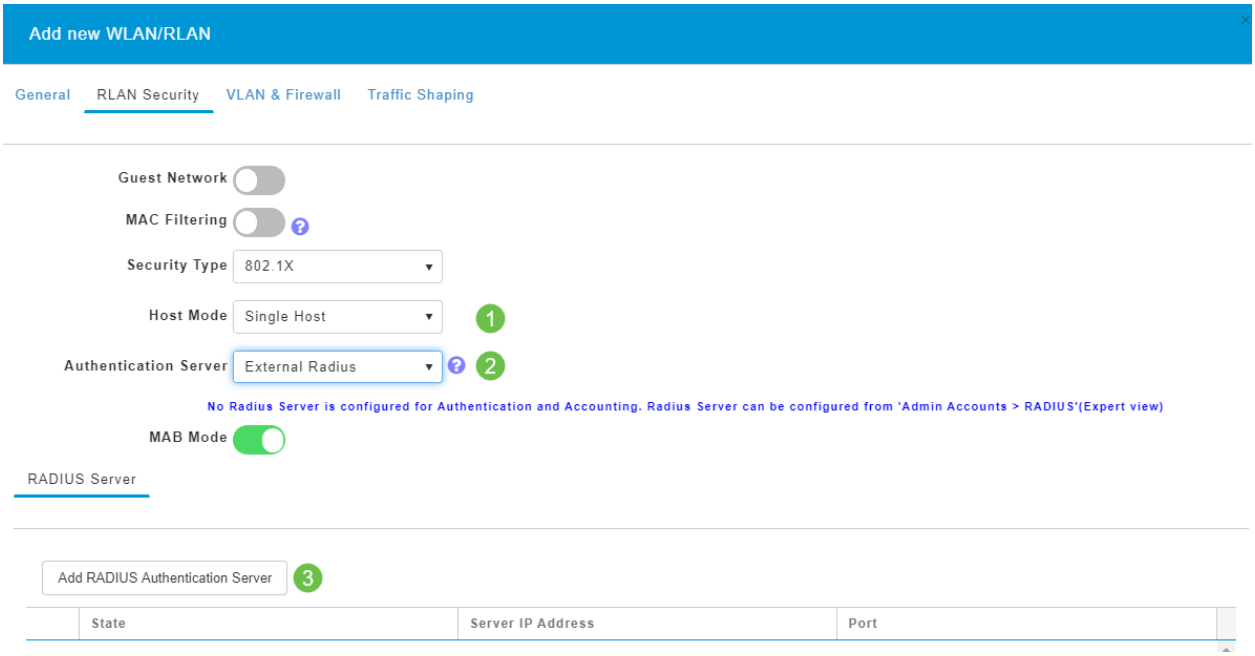
外部RADIUSを設定するには、Expert ViewのRADIUSの下の*Admin Accounts*でRADIUSサーバを設定する必要が*あります*。Web UIの右上**のメニュー**にある矢印アイコンをクリックして、エキスパートビューに切り替えます。RADIUSサーバーの設定の詳細については、RADIUSを確認してくださ[い](#)

手順10b (802.1Xセキュリティの使用)

[Security Type]に[802.1X]を選択する場合は、さらに多くのオプションを選択する必要があります。次を選択する必要があります。

- *ホストモード*:*単一ホスト*または*複数ホスト*

- *認証サーバ:外部RadiusまたはAP*
- *MABモード：有効または無効に設定します。*MACアドレスを追加するには、次の手順の手順に従います。

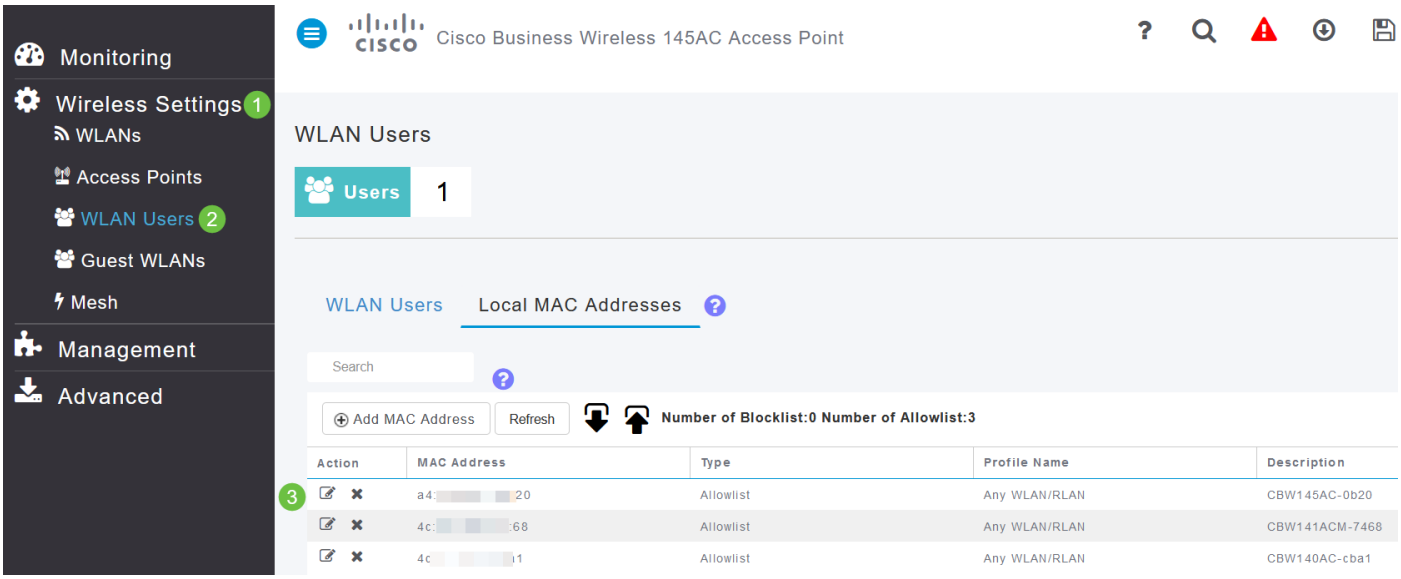


手順 11 (オプション)

MAC認証バイパス(MAB)モードとは、WLAN Usersの下にMACアドレスがリストされている場合、デバイスの認証は不要であることを意味します。リストされたMACアドレスは、ネットワークへの自動アクセスまたは自動的に拒否される認証をバイパスできます。これは、IP Phoneがスイッチのポートに接続されている場合に便利です。

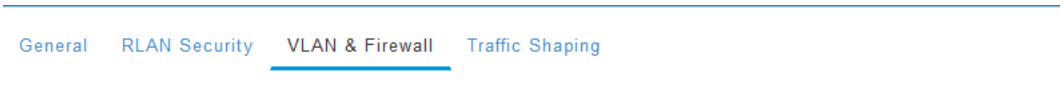
各MACアドレスには、次の2つの方法のいずれかでラベルを付けることができます。

1. *Allowlisted* : デバイスは自動アクセスを受信します。
2. *Blocklisted* : デバイスは自動的にアクセスを拒否されます。



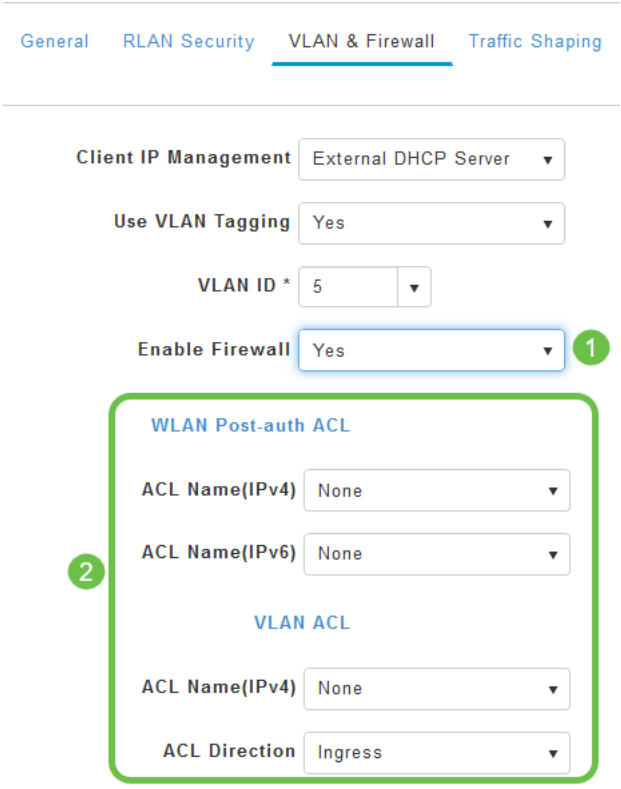
ステップ 12

[VLANとファイアウォール]タブで、[VLANタギングの使用]を選択し、VLAN ID番号を選択します。



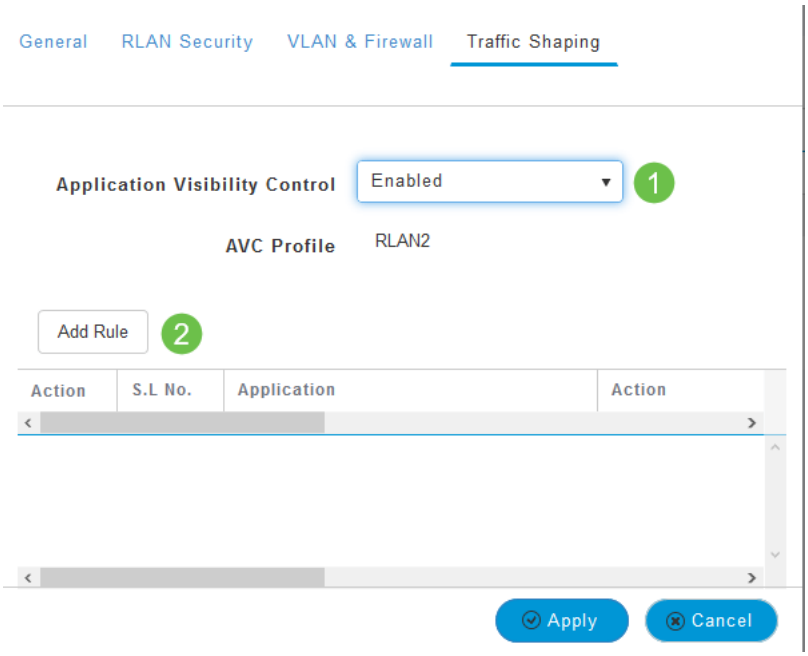
手順 13 (オプション)

特定のIPアドレスまたはVLANに対するアクセスを許可または拒否できるアクセスコントロールリスト(*ACL)を設定する場合は、*[ファイアウォールの有効化]を選択できます。これは、誰かがネットワークポートデバイスに接続してネットワークに接続している場合に使用されます。



手順 14 (オプション)

[Traffic Shaping]タブの下で、Enabling **Application Visibility Control**を使用してトラフィックシェーピングを設定できます。これにより、トラフィックの優先順位付けが設定されます。

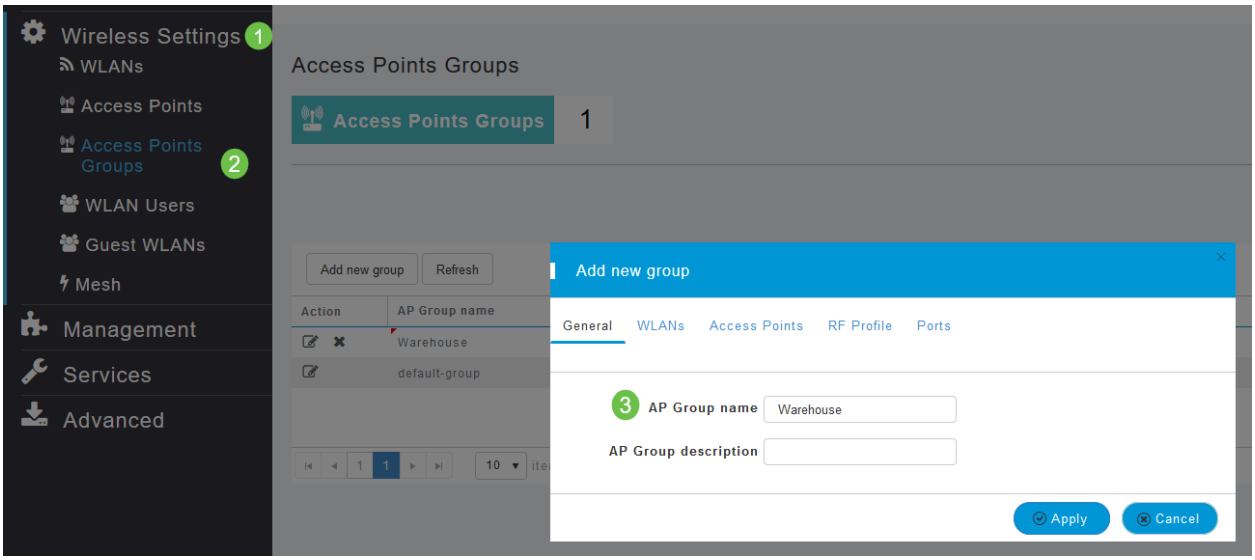


ステップ 15 (オプション)

[スケジュール]タブで、スケジュールを選択できます。ポートがネットワークに接続できる時間を設定します。

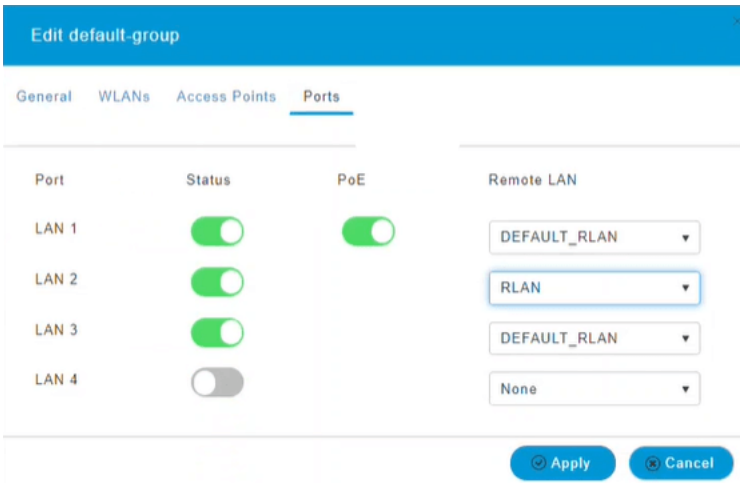
手順 16（オプション）

RLANが作成されたら、[Wireless Settings] > [**Access Point Groups**]に移動**できます**。ここでは、グループを追加または編集できます。この画面を表示するには、手順10aで選択した*エキスパートビュー*に移動する必要[があります](#)。



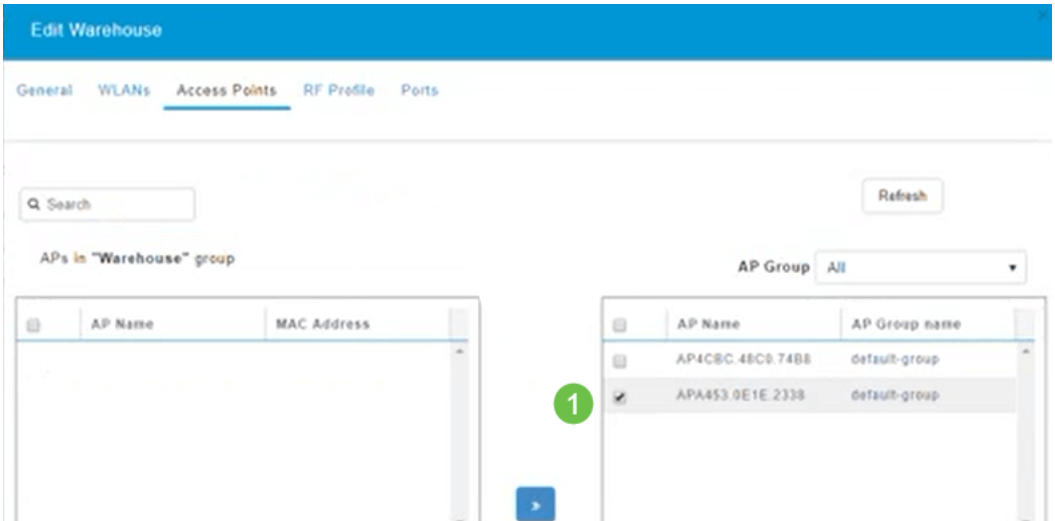
手順 17

[*Ports*]タブで、APのポートを特定のリモートLANに割り当てることができます。



ステップ 18

[*Access Points*]タブで、特定のアクセスポイントをそのアクセスポイントグループに割り当てる必要があります。[Apply] をクリックします。



ステップ 19

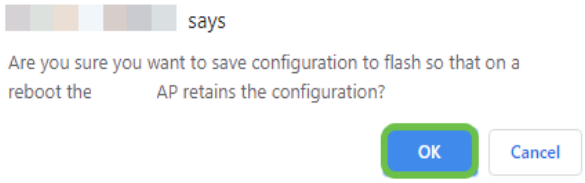
[はい]を**選択して**確認します。

ステップ 20

Web UI画面の右上のパネルにある**Saveアイコン**をクリックして、設定を保存してください。

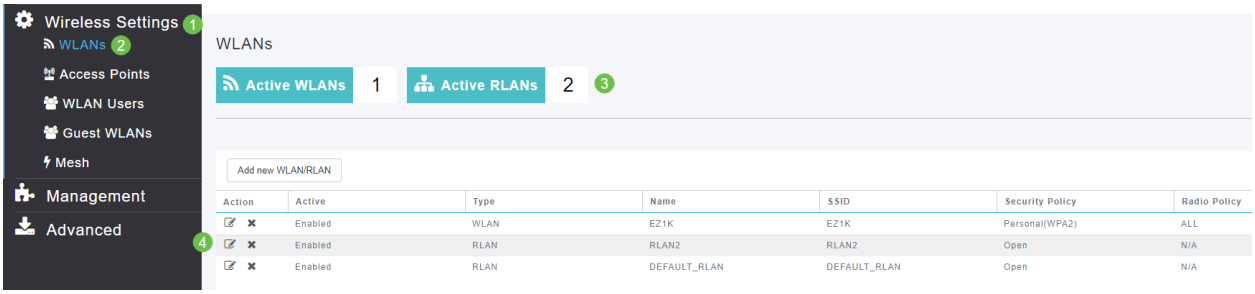
ステップ 21

[OK]をクリックして、[保存]を**確認します**。APがリブートします。この処理には8 ~ 10分かかります。



RLANの表示

作成したRLANを表示するには、[ワイヤレス設定] > **[WLANs]を選択します**。アクティブRLANの数が2に増え、新しいRLANがリストされます。

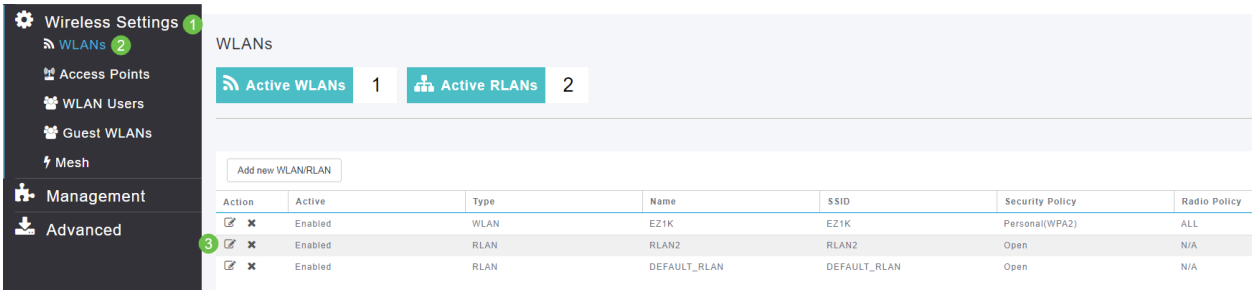


RLANの編集

RLANの設定の終わりに**[Apply]**をクリックすると、RLANが自動的にアクティブになります。RLANを無効にするか、その他の変更を行う必要がある場合は、次の簡単な手順に従います。

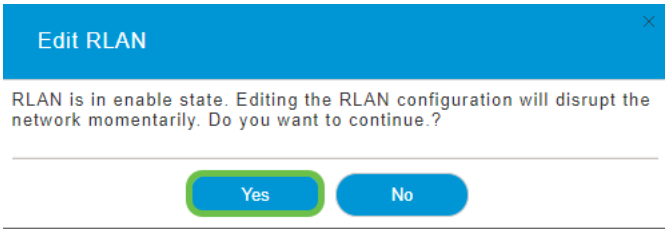
手順 1

[Wireless Settings] > [WLANs]を選択します。編集アイコンをクリックします。



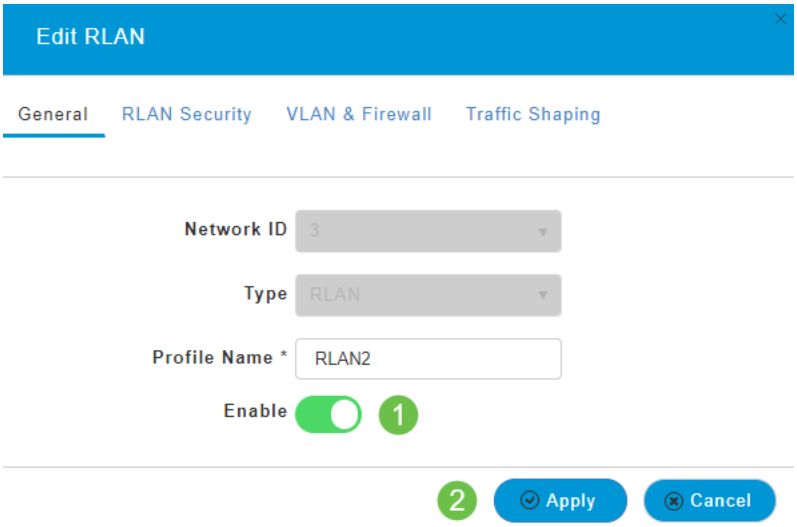
手順 2

RLANを編集すると、ネットワークが一時的に中断されることを通知するポップアップが表示されます。[はい]をクリックして、続行することを確認します。



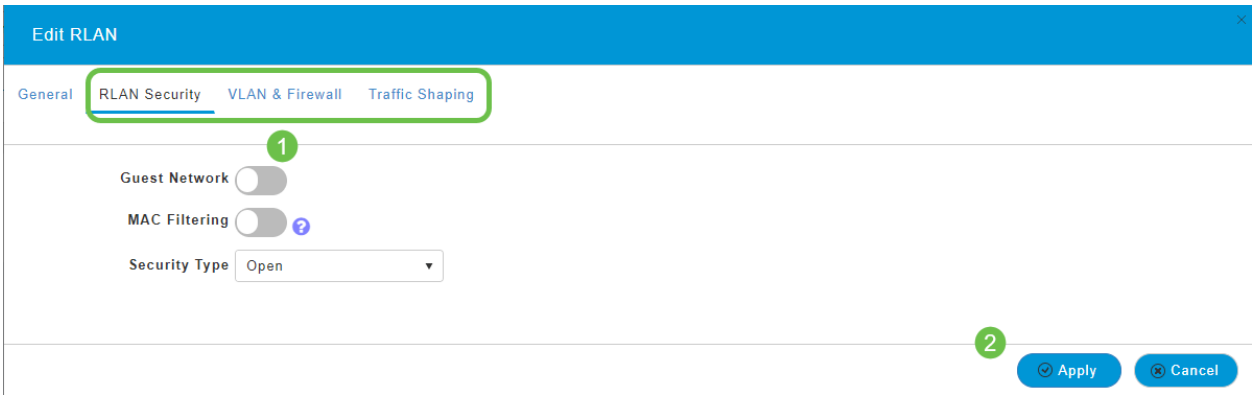
ステップ3（有効/無効）

[Edit WLAN/RLAN]ウィンドウの[General] で、[Enabled] または[Disabled] を選択してRLANを有効/無効にします。[Apply] をクリックします。



ステップ4（他の設定の編集）

設定を変更する必要がある場合は、[*RLAN Security*]、[*VLAN & Firewall*]、または[*Traffic Shaping*]タブに移動します。変更を加えたら、[Apply]をクリックします。



手順 5

Web UI画面の右上のパネルにあるSaveアイコンをクリックして、設定を保存してください。

結論

これで、CBWネットワークにRLANが作成されました。お楽しみください。必要に応じて追加することもできます。

よく寄せられる質問（FAQ） Radius Firmware Upgrade RLAN アプリケーションのプロファイリング クライアントプロファイリング プライマリAPツール Umbrella WLANユーザ Logging トラフィック シェーピング Rogues 干渉源 構成管理 ポート設定メッシュモード CBWメッシュネットワーキングへようこそ 電子メール認証とRADIUSアカウンティングを使用したゲストネットワーク トラブルシューティング CBWでのDraytekルータの使用